

SR-S308TL1 V13.07 変更内容一覧

□機能追加

No.	項目	内容
1	節電対応	1) ポート閉塞/閉塞解除 (offline ether/online etherコマンド)をスケジュール設定可能としました。 2)スケジュールコマンドの設定最大数を50に拡張しました。
2	モジュールのホットスワップ対応	offline ether,online etherコマンドを実行することで、SFP/XFP/SFP+モジュールの活性挿抜を可能としました。
3	IGMPスヌープ機能改善	IGMPスヌープ機能有効時にも、ローカルグループ(224.0.0.0~224.0.0.255)宛てパケットについては、IGMPスヌープ機能の対象としないで、無条件で中継する動作モードを追加しました。

□修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V13.04~V13.05	WWWブラウザの保守メニューの「構成定義情報」にて復元操作が失敗となる。
2	V13.04~V13.05	diffコマンドでstartup-configとの比較を行うと、差異がないのに差異が表示されたり、場合によってはシステムダウンする場合がある。
3	V13.04~V13.05	MACアドレス認証が有効なetherポートがリンクダウンした後、極めて稀なタイミングで認証動作が正しく実施できなくなる場合がある。
4	V13.04~V13.05	リンクアグリゲーションインタフェースが構成定義矛盾によって動作不可状態のままになっていると、そのインタフェースに対するifIndexおよびifPhysAddressのMIB値について本装置が誤った情報で応答する場合がある。
5	V13.04~V13.05	通信中にetherコマンド設定の動的定義変更をおこなうと、Checkランプが橙点灯し、エラーログにerror code [a7000990]が出力され装置再起動まで通信を再開できない場合がある。
6	V13.04~V13.05	コマンド実行履歴のシステムログ内容に不正な文字列“env”が混入される場合がある。